



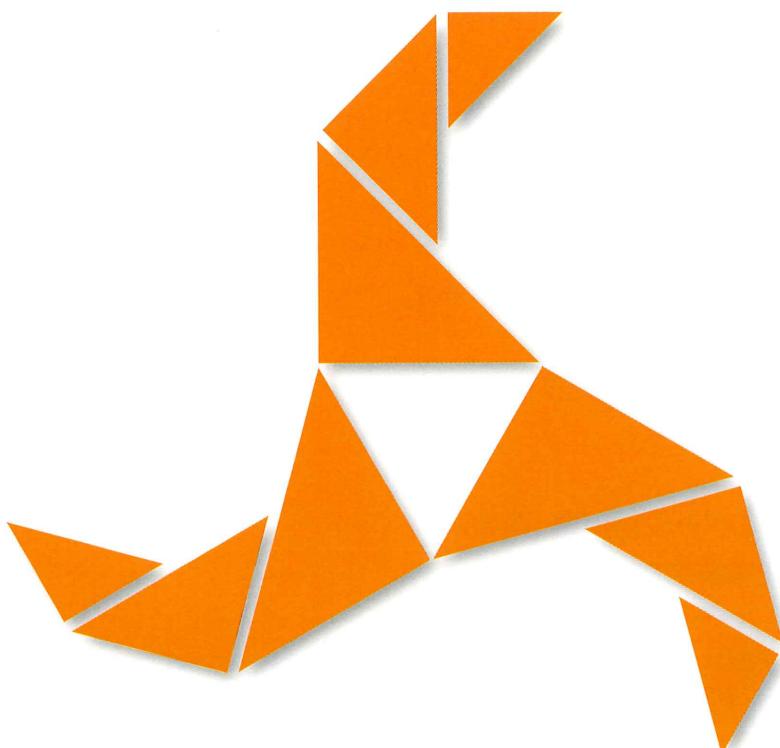
『塩野直道記念』

第13回

算数・数学の自由研究 作品コンクール

中学校・高等学校用

応募のしおり





塩野直道記念「算数・数学の自由研究」作品コンクールへのお誘い 中学生、高校生の皆さんへ	1
塩野直道記念「算数・数学の自由研究」作品コンクールの趣旨	2
作品コンクールの歩み	2
応募要項	3
応募の資格や方法、作品の条件などを説明します。	
審査と表彰	4
どのような賞があり、どのように審査されるかを説明します。	
レポートの形式	5
どのような用紙にどのように書けばよいかなどを説明します。	
レポートの内容	5
レポートの内容をどのように組み立てればよいかを説明します。	
レポートのまとめ方	7
レポートの一例です。参考にしてください。	
応募票【学校用】	8
学校でまとめて応募する場合は、これを作成といっしょに送ります。 【個人用】は、Rimseホームページからダウンロードして使ってください。	
作品の送り方について	9
作品の送り方について注意点をまとめています。	
レポート用紙・1ページ目(見本)	10
作品の最初のページ用です。	
レポート用紙・2ページ目以降(見本)	11
作品の2ページ目以降用です。	

※応募票とレポート用紙は、必要分をコピーまたは、Rimseホームページからダウンロードして使ってください。

※RimseホームページのURL <https://www.rimse.or.jp>

塩野直道記念

「算数・数学の自由研究」作品コンクールへのお誘い

中学生、高校生の皆さんへ

「算数・数学の自由研究」と聞いて、あなたは何を思い浮かべますか？

おそらく多くの人は「自由研究って理科や社会科ならイメージがわくけど、数学で何をするの？」と首を傾げることでしょう。

実は私たちを取り巻く事象の多くは数学的な見方や考え方で構成されています。

算数・数学は、単純に計算能力を身につけるためだけの学問ではありません。例えば鉛筆の形はなぜ六角形なのかななど、当たり前だと思っていることの中に算数・数学は隠れています。算数・数学の面白さや美しさ、生活の中でどのように役立っているかなど、皆さんのがんできたことを利用してレポートにまとめてみませんか。

ぜひ「算数・数学の自由研究」作品コンクールに応募して、課題の解決や学習成果の活用にチャレンジしてみてください。

皆さんの応募をお待ちしています。

「算数・数学の自由研究」
作品コンクール



中央審査委員長 根上 生也



塩野直道記念 「算数・数学の自由研究」作品コンクールの趣旨

塩野直道先生(1898～1969年)は、旧文部省図書監修官として、「数理的な面を通して人間の知性を開発する」という算数教育の目的を定め、1935年(昭和10年)から使用された教科書『尋常小学算術』(通称緑表紙)を編纂しました。日常生活を数理的に正しく理解することに主眼がおかれて編纂された、その画期的な内容は、当時諸外国からも絶賛されました。

生きていくためには、いくつもの人生の壁を自らの力で乗り越えていくことが大切です。また、複雑化した現代社会では、多くの人々が関わり合いながら、様々な問題を解決していかなければなりません。そのためには物事を数理的にとらえる知性が必要となります。

算数・数学の学習においては、特に言葉や数、式、図、表、グラフなどを使って数理的に考え、根拠を明らかにし筋道を立てて説明する活動が求められています。また、学習の中に算数的活動、数学的活動(特に探究的活動)などを効果的に取り入れて、思考・判断・表現する力を育み、学ぶ意義を高めることが重視されています。

(財)理数教育研究所では、児童・生徒が日常生活や他教科の学習などから興味をもった事象を、数学的な見方・考え方を活用して主体的に探究していく姿勢を培うために、塩野直道先生を記念して、「算数・数学の自由研究」作品コンクールを実施します。

応募作品の中から、自ら気づいたもの、つくりあげたもの、既習内容を積み上げたもの、みんなで発見したものなどの優れた作品を表彰し、優秀作品には「塩野直道賞」などを授与します。



塩野直道先生

塩野直道賞 頌彰委員会

吉川 弘之 東京大学名誉教授／Rimse 名誉理事

岡本 和夫 東京大学名誉教授／Rimse 理事長

工藤 壽和 公益社団法人 全国珠算教育連盟理事長

[特別顧問]

塩野 宏 東京大学名誉教授

作品コンクールの歩み

塩野直道記念「算数・数学の自由研究」作品コンクールは、2013年に第1回が開催され、今回が第13回となります。

第12回は、小学生・中学生・高校生の皆さんから15,000をこえる作品が寄せられ、厳正な審査の結果、最優秀賞が次の方々に授与されました。

塩野直道賞 小学校低学年の部	宮城教育大学附属小学校	3年 岡本 千歳
塩野直道賞 小学校高学年の部	神戸大学附属小学校	4年 神谷 幸佑
塩野直道賞 中学校の部	賢明女子学院中学校	3年 野中 麻央
塩野直道賞 高等学校の部	桐蔭学園中等教育学校	6年 吉村 隆志, 朝倉 匠, 河上 恵奈, 長谷井 遼太郎
文部科学大臣賞	大阪教育大学附属池田中学校	2年 岸岡 友陽
Rimse理事長賞	東京学芸大学附属高等学校	2年 本多 剛欣

さらに、優秀賞を7人、中央審査委員特別賞を4人、中央審査委員奨励賞を42人の方々が受賞されました。

応募要項

応募資格

- 小学生、中学生、高校生（海外の日本人学校等も含む）
 - ・ 小学生 …… 低学年の部（1～3年）と高学年の部（4～6年）に分けて審査します。
 - ・ 中学生
 - ・ 高校生（高等専門学校3年次までを含む）

- 同学年のグループでの応募も可能です。

[注意] グループのメンバーは、同じ学校の同じ学年に限ります（1グループ4人まで）。

例えば、3年生と1年生の兄弟のグループでは、応募できません。



よく読んで、間違えない
ようにしましょう。

応募作品

- テーマは自由です。
- 日常生活や社会で感じた疑問や気づきを大切にし、数学の力を活用して解決する、あるいは、数学の学びを発展させて新たな数理的課題を探求する中で、気づいたことやわかったこと、自らの解決の方法などをレポートにまとめてください（日本語の作品に限ります）。

小学生	A4判（縦）の用紙（片面）で5枚以内にまとめてください。
中学生	A4判（縦）の用紙（片面）で10枚以内にまとめてください。
高校生	

- レポートの書き方、まとめ方がこの冊子のp.5～7に載っています。参考にするとともに、書き方の注意を守ってください。
- レポートの用紙としては、市販のもののほか、この冊子のp.10～11もコピーして使用できます。
- 立体的な作品や、立体的な制作物を添付した作品の応募はお断りします。

（レポートの中で写真によって紹介するのはかまいません。写真などは、はがれないようにしっかりと貼ってください。）

応募方法

- 応募票に必要事項を記入し、作品といっしょに送ってください。なお、異なる学校種をまとめて応募されるときは、学校種ごとに分けてください。学校用の応募票（学校でまとめて送る場合）はこの冊子のp.8にあります（Rimseのホームページからダウンロードできます）。個人用はRimseホームページからダウンロードしてください。

送付先 〒543-0052

大阪市天王寺区大道4丁目3番23号

（財）理数教育研究所 「算数・数学の自由研究」係

Tel. 06-6775-6538

受付期間 2025年8月20日～2025年9月5日（必着）

※〆切を過ぎた場合は受け付けできません。

応募総数が50を超える場合は、
応募票・応募者表に添えて、応募
者表のエクセルデータをCDに入
れてお送りください。

応募にあたっての注意

- 作品は図や写真も含めて、日本語で書かれた、応募者本人のオリジナル作品に限ります。
参考・引用した資料がある場合は、作品中に必ず明記してください。
- 応募は、1人（1グループ）1作品に限ります。個人とグループの両方での応募はできません。
- グループで応募するときは、1グループにつき1作品を送ってください。
- 他のコンクールなどで審査中の作品や過去に入賞した作品の応募はお断りします。
- ChatGPTなどの生成AIを使って作成したものをそのまま自分の作品として応募・提出することはできません。
- 作品はお返ししませんので、控えが必要な場合は、あらかじめコピーを取ったうえで応募してください
(コピーでの応募も可能です)。
- 応募者のお名前、都道府県名、学校名を公開させていただく場合があります。

著作権の帰属・個人情報の取り扱い

- 受賞作品の著作権は、主催者である一般財団法人 理数教育研究所に帰属します。
また、受賞作品は、主催者の刊行物、ホームページなどに掲載することがあります。
- 個人情報は、応募作品の受付・管理、審査結果の発表、参加賞の発送以外には使用しません。

しんさくひょうしょう
審査と表彰

審査

- 小学校低学年の部・小学校高学年の部・中学校の部・高等学校の部の4部門に分けて行います。
- まず各地域(ブロック)で選考した後、中央審査を経て、受賞作品を決定します。
- 審査にあたっては、次のような点を重視します。
 - ・日常生活や社会で感じた疑問、あるいは算数・数学の学びを発展させた数理的課題から、研究したいテーマを見つけているか。
 - ・算数・数学的な見方・考え方を活用して創意ある研究を行っているか。
 - ・研究で気づいたことやわかったこと、自らの解決の方法などを、レポートにわかりやすくまとめているか。

賞(予定)

最優秀賞	塙野直道賞 —— 小学校低学年の部	小学1～3年生の作品から1点
	塙野直道賞 —— 小学校高学年の部	小学4～6年生の作品から1点
	塙野直道賞 —— 中学校の部	中学生の作品から1点
	塙野直道賞 —— 高等学校の部	高校生の作品から1点
	文部科学大臣賞	全応募作品から1点
	Rimse 理事長賞	全応募作品から1点
優秀賞	読売新聞社賞	全応募作品から1点
	学研賞	全応募作品から1点
	日本数学検定協会賞	全応募作品から1点
	新学社賞	全応募作品から1点
特別賞	中央審査委員特別賞	全応募作品から最大4点
奨励賞	中央審査委員奨励賞 —— 小学校低学年の部	小学1～3年生の作品から最大10点
	中央審査委員奨励賞 —— 小学校高学年の部	小学4～6年生の作品から最大10点
	中央審査委員奨励賞 —— 中学校の部	中学生の作品から最大10点
	中央審査委員奨励賞 —— 高等学校の部	高校生の作品から最大10点

- 受賞者に、賞状と記念品を贈呈します。
- 応募者全員に、参加賞と審査委員からのメッセージをお届けします(2026年2月上旬)。
- 賞状、記念品、審査委員からのメッセージのお名前につきましては、環境依存文字の場合、新JIS規格(JIS020)での表記となることがあります。ご了承ください。

審査結果の発表(予定)

- 受賞作品は2025年12月末にホームページ(<https://www.rimse.or.jp/>)にて発表します。また、2026年2月発行予定の広報誌『Rimse』で紹介します。
- ホームページ、広報誌『Rimse』に掲載するお名前につきましては、環境依存文字の場合、新JIS規格(JIS020)での表記となることがあります。ご了承ください。
- 最優秀賞・優秀賞の受賞者(グループ応募の場合は代表者1名)および保護者(いずれも日本在住者に限ります)を招いて、2025年12月に表彰式を開催します。

中央審査委員(予定)

委員長	根上 生也	横浜国立大学 名誉教授		
委員	伊藤 由佳理	東京大学 教授	西村 圭一	東京学芸大学 教授
	銀島 文	国立教育政策研究所 生涯学習政策研究部 部長	藤田 岳彦	中央大学 教授／一橋大学 名誉教授
	桜井 進	サイエンスナビゲーター®	吉川 成夫	國學院大學 教授
	中島 さち子	(株)steAm代表取締役、音楽家／STEAM教育者	渡辺 美智子	立正大学 教授

(2024年11月現在。五十音順)

レポートの形式

●規定の大きさ(A4判縦)の用紙に、規定の枚数(片面で10枚以内)を守って、次のように書く。

- 手書きでもパソコン使用でもよい。

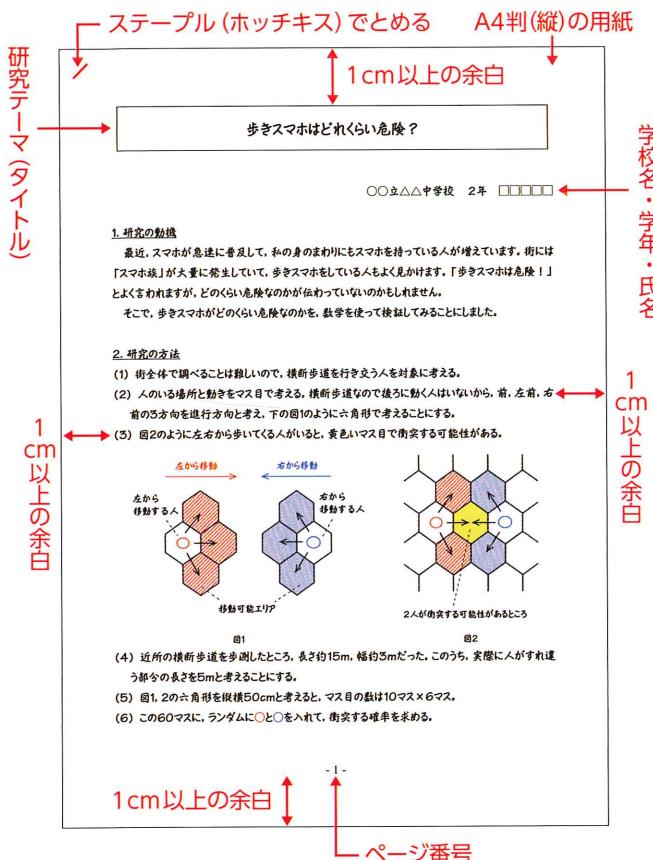
手書きの場合 …………… 鉛筆は濃いもの(HBかB)を使い、しっかり、ていねいに書く。

パソコン使用の場合 …… 印刷したものを送る。(データでは受け付けできません。)

- 紙面のまわりに1cm以上の余白をとる。(紙面いっぱいに書かない。)

- 1ページ目の最初に、研究テーマ(タイトル)、学校名、学年、氏名を入れる。

- 各ページの下にページ番号を入れる。



●レポートができ上がったら、紙面の左上を1か所、ステープル(ホッチキス)でとめます。

[注意]ひもでとじたり、クリアファイルに入れたりしないでください。
表紙はつけないでください。

●レポートを応募票とともに送ります。

(送付先は、この冊子のp. 3参照)

[注意]応募票は1枚で別に切り離しておきま
す。(レポートといっしょにとじないでく
ださい。)

立体的な作品や、立体物を添付した作品
の受け付けはできません。(必要な場合
は、写真をレポートに載せてください。写
真などを貼る場合は、しっかりのりづけを
してください。)

図やグラフなどを入れて、
読み手にわかりやすく
書きましょう。



レポートの内容

レポートは次の1～5の5部構成を標準とします。

それぞれの[書き方]や[例]などをヒントに、p.7も参考にして、頑張って作成しましょう。

1. 研究のテーマ(タイトル)

[書き方]

- 読み手が関心をもち、「面白そう、読んでみたい!」と感じるようにしましょう。
- あなたが興味・関心をもった内容が読み手に伝わるように表現を工夫しましょう。

過去の受賞作品や事例集もテーマ決定の参考になります。

(<https://www.rimse.or.jp>)

[例]

- 数学で国語を斬る!
- ・ファストパスを有効に使え!!
- ・包装紙はどれぐらい必要?
など

2. 研究の動機や目的

[書き方]

- ・この研究テーマに興味・関心をもったきっかけや体験
- ・この研究を通して、何を明らかにしたいのか？などを読み手に知らせます。

[例]

- ・生活の中に数学ってないかな？
- ・身の回りで、「不思議だ？」とか、「便利だ！」とか、「きれいだ！」とか思ったことは？
- ・もっと上手に時間を活用できないかな？
- ・～について、条件や図形を変えると、どうなる？

3. 研究の方法や内容

[書き方]

- ・何を（内容）どうやって（方法）調べるのか
- ・どのようにして式や数量でとらえ（数値化）、それを目に見える形にする（視覚化）のかなどを書きます。

[例] 数学で国語を斬る！

自分の書いた文章の傾向を調べるために、自分が小学校5年生から中学校1年生までに書いた4種類の文章から5文字ずつを任意に選び、品詞の使用率を調べ、表やグラフにまとめる。

4. 研究の結果と考察（まとめ）

[結果の書き方]

- ・実際に調べて何がわかったかを書きます。図や表、イラスト、グラフ、式などを活用して、見やすく、読み手に伝わりやすいようにしましょう。しっかり整理し、適切なスペースをとり、工夫して表現するとよいでしょう。

[考察（まとめ）の書き方]

- ・最初に結果を予想した場合は、予想と実際の結果を比べ、違いやその理由を明らかにする
- ・結果を既習の内容とつなげて、結果についての理解を深める
- ・結果を振り返って、一般化したり、抽象化したりして、研究の結果を発展させるなどを行います。

難しくて理解できなかった場合は、どこまでわかり（理解できた部分）、どこから先がわからないか（解決できていない部分）の区別を明らかにします。そして、**5**で今後の課題につなげましょう。

[結果の例] ファストパスを有効に使え!!

- ・ファストパスを利用すればするほど、短い時間でアトラクションを回ることができる。
- ・ただし、空いているアトラクションでは、ファストパスを取っても並んだときと差がなくなる。
- ・その対策として、…

[考察の例] 包装紙はどれくらい必要？

3辺の長さが3cm・3cm・3cmの立方体、3cm・3cm・6cmの直方体をむだなく包む包装紙の縦と横の長さの比は、それぞれ1:2、1:3であることがわかった。

このことから、「3辺の長さが3cm・3cm・3n cmの直方体をむだなく包む包装紙の縦と横の長さの比は1:n+1」と予想できるので、これを証明すると…。

5. 感想と今後の課題

[書き方]

- ・この研究を通しての感想
- ・新たな発見（こんなことがわかった！）
- ・新たに生まれた疑問や今後の課題などを書きましょう。

[例]

- ・研究を始める前と研究が完成した後の自分を比べると、どのように変わっただろう？
- ・数学のよさや美しさについて、気づいたことはないだろうか？
- ・「もっと考えてみたい!!」と感じたことは？

その他、参考文献

参考にした本やホームページがある場合は、次の内容を必ず書きます。

- ・本の場合 著者名、書名、出版社名、発行年
 - ・ホームページの場合 ホームページのアドレス(URL)、それを見た年月日
- また、研究の内容について、教えてもらった先生や身近な人がいる場合は、「この部分は○○さんに教えてもらいました」のように記入しましょう。

レポートのまとめ方

～中2女子の作品より～

1. 思わず読みたくなる“テーマ・タイトル”

車は急に止まれない！



2. 経験や興味・関心に基づく“研究の動機や目的”

休みの日、父の運転する車でよく出かけますが、たくさんの車で渋滞することがあります。

また、ニュースを見ると毎日のように交通事故が起きています。そこで気づいたのは、急ブレーキをかけても、車はすぐに止まれず……。特に、タイヤがスリップして、スピードが速ければ速いほど、止まるまでの距離が……。

私も将来車を運転したいのですが、交通事故にあうのは怖いです。そこで事故を起こさない運転方法を研究してみたいと思います。

3. 学びを活かした“研究の方法や内容”

私はまだ運転免許がないので、両親に急ブレーキを踏んだときの経験や、その時の様子をインタビューしました。

父には「あぶない！」と思って急ブレーキをかけたことが、実際にあったそうです。その時の様子は、……。

ブレーキをかけてから完全に止まるまでは、本当は一瞬なんだろうけれど、実際にはとても長い時間のように感じたことや、……。

「あぶない」と思ったときから完全に止まるまでの距離のことを「停止距離」ということを教えてもらったので、インターネットや図書館も利用して、……。

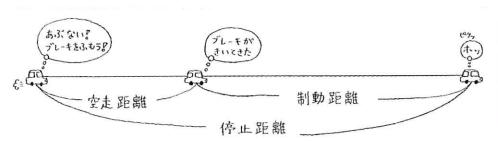
調べたことを表にまとめると、距離や時間に関係がありそうなので、グラフにすると……。

また、雨や雪の日には、停止距離が長くなるようなので、これも表にまとめて……。

4. 伝わりやすい“研究の結果と考察”

調べた結果、停止距離は、車の速さの関数であることがわかりました。

そして停止距離は、危険を感じてブレーキを踏み、効き始めるまでの間に走った「空走距離」と、ブレーキが効き始めてから止まるまでに走った「制動距離」の2つの合計であることがわかりました。図に表すと、……。



空走距離を表やグラフに表すと、……。

空走距離は、速さに比例している関数であることがわかりました。

制動距離を表やグラフに表すと、……。

制動距離は、速さに比例はしていないが、関数になっているとわかりました。

停止距離は、空走距離と制動距離を合計したものなので、表やグラフ、式に表すと、……。

インターネットで調べると「制動距離」は、雨や雪などの環境によって変わることがわかりました。

それには、右の表のような摩擦係数が関わっていました。

その摩擦係数をあてはめると、制動距離のグラフは……。

路面の状況	摩擦係数
乾いたアスファルト	0.8
ぬれたコンクリート	0.5
雪が積もった道路	0.15

5. これから的生活や学びに役立つ“感想と今後の課題”

停止距離の中でも、「空走距離」は速さにとても関係していて、スピードの出し過ぎは本当に危険だと感じました。「制動距離」は、速さだけでなく、それに加えてぬれていたり、雪が積もっていたりすると変化することがわかりました。

具体的に、乾いた道路とぬれた道路では、予想どおりぬれた方が止まりにくかったですが、雪が積もっていると、さらに止まりにくく、そのあまりの差に驚きました。

さらに、危険を発見するまでに、協見をしたりすると……。

バスに乗っている時、混んでいると走り出すときの加速が遅かったり、止まりにくかったりするので、

今後は車の重さにも注目して、重さとの関係も調べてみたいと思います。

この調べた数値などが、運転手にすぐにわかるように、スピードメーターの横に停止距離の数値が見えると事故も減るかもしれない、と思いました。

塩野直道記念
算数・数学の自由研究
作品コンクール



応募票 学校用

応募作品を学校でまとめて送る場合に使用します。

(個人で応募する場合は、Rimseホームページより個人用をダウンロードしてください。)

◆必要事項を記入し、応募票と応募作品を送ってください。応募票は重ねた作品の一番上においてください。

学校名	<input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 私立 <small>※小中一貫校、中高一貫校の場合は、応募者の学年欄は学校種がわかるように記載してください。(例: 小2、中2、高2など)</small>		
学校の所在地	〒 _____		
電話番号		FAX 番号	
ふりがな			
担当の教員名			
応募総数	<small>※応募総数が50を超える場合は、応募票・応募者表に添えて、応募者表のエクセルデータをCDに入れてお送りください。</small>		

応募者 (パソコンで作成したものをおこや裏面に貼りつけても結構です。)

生徒名 (姓と名の間は1字あけてください) <small>※グループの場合は、全員の名前を作品の記載順に合わせて記入し、代表者の名前の前に(代)と記入してください。</small>	学年	作品のタイトル (研究テーマ)
	年	
	年	
	年	
	年	
	年	
	年	
	年	
	年	
	年	

*個人情報は、応募作品の受付・管理、審査結果の発表、参加賞などの発送以外には使用しません。

*応募者のお名前、都道府県名、学校名を公開させていただく場合があります。お名前が環境依存文字の場合、新JIS規格(JIS020)での表記となることがあります。ご了承ください。

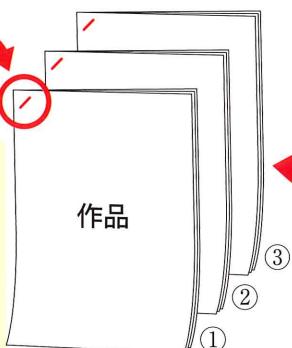
- 応募票(学校用,個人用)はRimseホームページ(<https://www.rimse.or.jp>)からダウンロードしてください。
- レポート用紙(1ページ目, 2ページ目以降用)の見本はこのページの後にあります(Rimseホームページからもダウンロードできます)。市販の用紙でもかまいません。

作品の送り方について



学校でまとめて作品を送る場合

- 1作品ごと、左上をステープル(ホッチキス)でとめる。
- お願い**
- 応募票の応募者表と作品の順番をそろえてください。(①②③…の順番で)
- 発送前にもう一度、作品総数に間違いがないかご確認ください。



- 重ねた作品の一一番上に応募票[学校用]をおく。
- 異なる学校種をまとめて応募するときは、学校種ごとに分けてください。
- 作品数が多い場合は、応募者表を別に添えていただいてもかまいません。
- 応募総数が50を超える場合は応募者表のエクセルデータをCDに入れてお送りください。

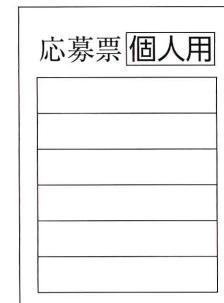


個人で作品を送る場合

- 作品の左上をステープル(ホッチキス)でとめる。
- レポート用紙はA4判(縦)片面にする。
- 表紙はつけない。
- ページ番号を入れる(p.5参照)。



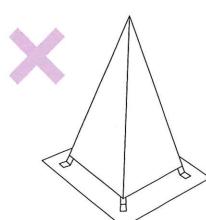
- 作品と応募票[個人用]はいっしょにとじないで別々にする。
※応募票はRimseホームページにあります。



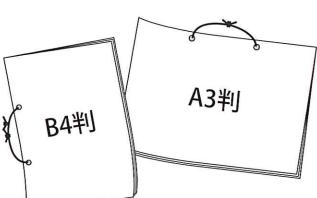
送
り
先

〒543-0052 大阪市天王寺区大道4丁目3番23号
(財)理数教育研究所 「算数・数学の自由研究」係
TEL.06-6775-6538

こんな作品は困ります



立体的な作品や規定の大きさ以外の作品、横長の作品、ひもでとじた作品

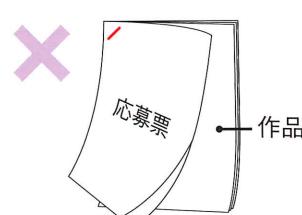


A3判

B4判

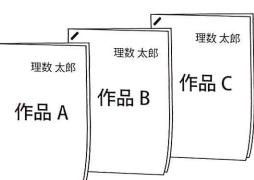


両面に書いた作品



応募票

作品と応募票をいっしょにステープル(ホッチキス)でとめる。



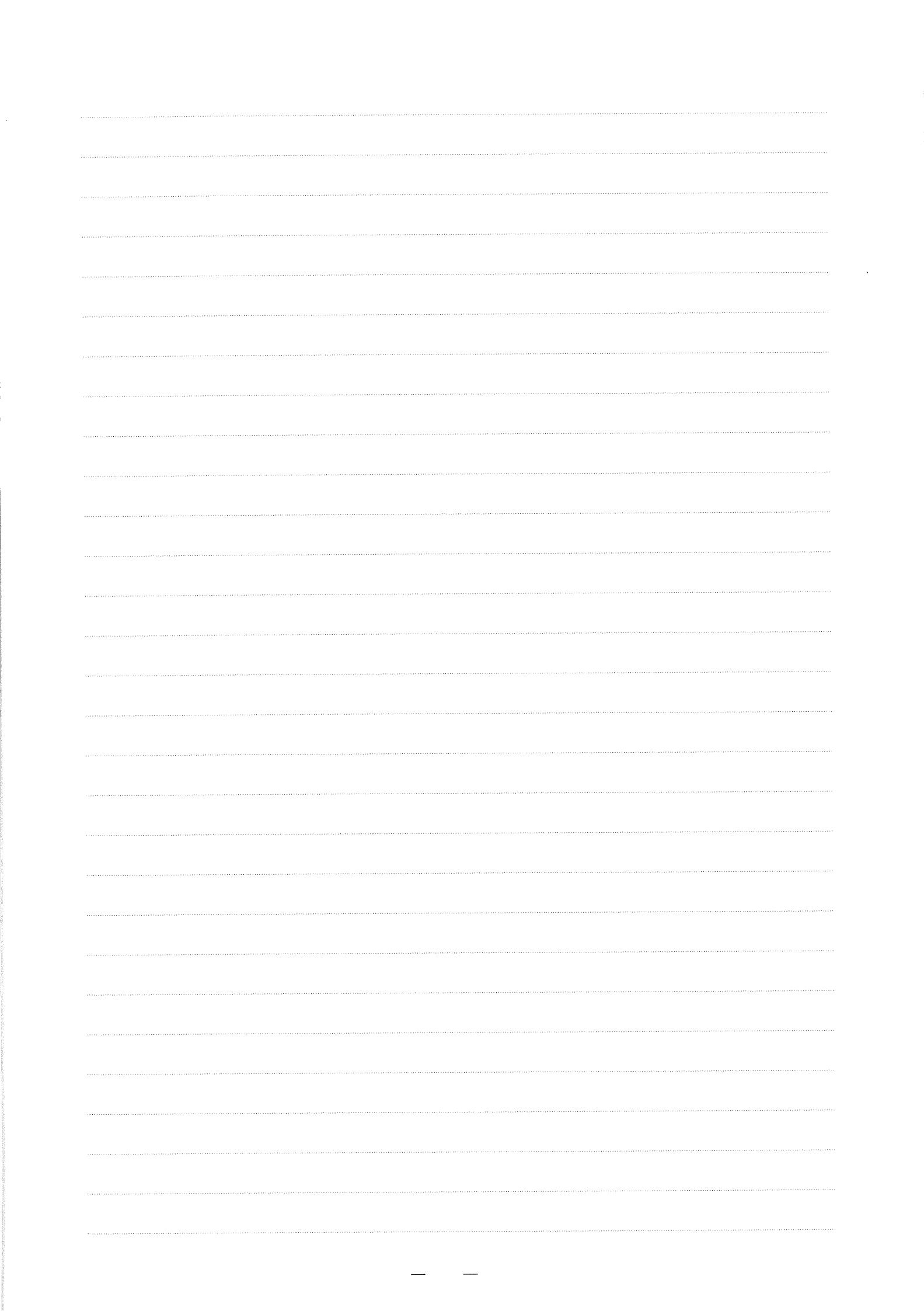
1人で複数の作品を送る。



作品の右上をステープル(ホッチキス)でとめる。

研究テーマ(タイトル)

立 学校 年 名前



大シャボン玉 チャレンジ

すくいやろう。

たき火 チャレンジ

GAKKEN KAGAKU OUTDOOR

学研の科学 アウトドア

全国書店で好評発売中!

大シャボン玉 チャレンジ
親子で1日楽しめ!

たき火 チャレンジ
キャンプ場で火おこしおもしろい!

価格:
各2,530円(税込)

Gakken 学研グループの書籍・雑誌についての新刊情報・詳細情報は、右記をご覧ください。 学研出版サイト <https://hon.gakken.jp/>

数学検定

[文部科学省後援] 実用数学技能検定® [数検]
※対象:1~11級

累計志願者数 **700万人突破!**

数学で、可能性を広げよう!

表現力がつく

思考力が高まる

基礎や基本が身につく

入試における活用

大学・短期大学・専門学校

(いずれも2022年7月現在。当協会調べ)

全国 **530** 校以上

高等専門学校・高等学校・中学校

全国 **1,090** 校以上

単位認定制度

大学・高等専門学校・高等学校 全国 **440** 校以上

公益財団法人 日本数学検定協会

[公式サイト] www.su-gaku.net/sukcen/ **数検** **検索**

令和7年度版 新学社のワーク・単元プリントで

新学社

「校務負担軽減」と「個別最適な学び」を実現!

校務負担軽減

問題作成時短

テスト作成システム

ワークや単元プリントの
同一問題・類題を使った定期テストや
確認テストの作成が**最短5分!**
完成データダウンロード**無料!**



▲詳しくは動画を
チェック

得点集計時短

採点ペン

観点別集計 得点集計

採点システムの導入なしで、
得点の手入力が**0分!**



▲詳しくは動画を
チェック



○つけと同時に、Excelに結果入力!
Excelがあれば、インストールなしで
すぐに使える!

個別最適な学び

新学社の生徒用**無料**デジタル教材
Singシリーズ

サンプルはこちら▶



ワーク付録



Singドリル



Singブック

単元プリント付録

「デジタルフォロー」

データに基づく
個別最適な学び

単元プリントの得点をデジタル解説解答に入力
→個別のフォローコンテンツを提示!

まなび^{プラス}ス+にご登録いただくと、生徒の学習結果や
学習状況を先生が一覧で確認できるようになります。

数学の自由研究



根上生也 監修／理数教育研究所 Rimse 編／文研出版 発行

■2014年夏に行われたRimse主催 第2回「算数・数学の自由研究」作品コンクールの優秀作品を多数収録。

数学の自由研究 第2回 作品コンクール 優秀作品集(全2巻)



数・計算編
(中・高校生向)
【9作品収録・64ページ】



図形・統計・確率編
(中・高校生向)
【11作品収録・64ページ】

■第1回「算数・数学の自由研究」作品コンクール 優秀作品集

数学の自由研究 第1回 作品コンクール 優秀作品集(全2巻)

定価 各巻2,500円(税別) ■体裁 A4変型判上製本 ■オールカラー ■ケース入り(セットの場合)

お近くの書店にお申し込みくださいか、文研出版のWEBショップ(www.shinko-keirin.co.jp)やアマゾンからご購入ください。

塩野直道記念
第13回 算数・数学の自由研究
作品コンクール



ホームページ

<https://www.rimse.or.jp/>

主 催

一般財団法人 理数教育研究所

協 賛(予定)

株式会社 学研ホールディングス

公益財団法人 日本数学検定協会

株式会社 新学社

後 援(予定)

文部科学省

国立教育政策研究所

読売新聞社

公益財団法人 文字・活字文化推進機構

公益社団法人 全国珠算教育連盟

お問い合わせ先

(財)理数教育研究所 「算数・数学の自由研究」係

〒543-0052 大阪市天王寺区大道4丁目3番23号

Tel.06-6775-6538 Fax.06-6775-6515

E-mail:mathcon@rimse.or.jp



MATHコン チャンネルのお知らせ

やあ! ぼくマッキー
自由研究のヒントをYouTubeの
「MATHコン チャンネル」で見てね!



https://www.youtube.com/channel/UCp7ws7VeMwfovakdf2Fm_Cw

一般財団法人 理数教育研究所

Rimse



大阪オフィス 〒543-0052 大阪市天王寺区大道4丁目3番23号

TEL.06-6775-6538 / FAX.06-6775-6515

東京オフィス 〒113-0023 東京都文京区向丘2丁目3番10号

東大前HiRAKU GATE2階

TEL.03-3814-5204 / FAX.03-3814-2156

<https://www.rimse.or.jp> E-mail:info@rimse.or.jp